

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	えがおの広場（放課後等デイサービス）			
○保護者評価実施期間	令和8年3月2日		～	令和8年3月16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数)	10
○従業者評価実施期間	令和8年3月16日		～	令和8年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年5月19日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	知育玩具や手作りおもちゃを用いて視覚的に示し、楽しみながら活動できるよう支援している。	全体で使用する教材のほか、こども一人ひとりの特性に応じた物を作成している。	家庭や学校と連携を図りながら、個別支援計画に基づいた支援方法を検討し、安心できる場を提供していく。
2	身体づくりの活動や運動を通して「できた」という体験を積み重ね、こどもの育ちや情緒の安定が図れるよう支援している。	月ごとに活動内容を設定しつつ、日々少しずつ内容に変化を持たせ、こどもたちがワクワクしながら取り組めるよう工夫している。	活動での取り組みが日常生活につながるよう、身体づくりを意識させていく。
3	状況に応じて集団活動と個別活動を使い分け、こどものニーズに応じた支援をしている。	こどものニーズや要望に応じ、さまざまな状況で他者と関われることを意識して支援している。	限られたスペースの中で個別活動と集団活動が効率的に行えるよう、時間を区切ったりローテーションを行ったりして活動スペースを確保している。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	こどもの特性や職員との相性もあって担当制になっているが、それ以外の場合によってはこどもに不安感が見られる。	担当している職員がいないとき、他の職員が担当するとこどもの不安感が伝わる。	チームとしてオールマイティーにかかわれるようこどもと職員の入れ替えも必要である。
2	保護者との交流や保護者会の参加が低迷している。	コロナ禍以降、保護者との交流や行事への参加が減っている。 保護者会に出席する方がいつも同じメンバーになっている。	参加者が増えるよう協力を呼び掛けたり、参加してみたくなるような企画について役員と相談していく。 以前実施していた「かがやき集会」を踏まえ、交流の機会を検討する。
3	業務の効率化や働き方改革の必要性を感じる。	報酬改定やガイドライン等の改定によりやるべきこと、事務的な業務が増え、こどもとかかわる時間や心の余裕が減ってきている。放課後等デイサービスに特化した業務用ソフトを導入したが、まだ使い方に慣れていないこともあり、効果的な活用はこれからである。	さらなる業務の効率化と業務の整理を推進していく。また、職員のメンタル面にも配慮した業務体制を検討していく。